

人生の先輩である歩好里人(ほっこりと)から、若い世代へ伝えたい、残したいお話しを伺ってつないでいく、リレー式インタビューです。
Photo : Ryoji Kizawa, Text : Sachiko Kunda

昔のままの変わらぬ姿で、次の世代、 またその次の世代へと伝えつづけたい。



第10回 市岡 和男さん Mr. Kazuo Ichioka



いちおか かずお (写真 最後列右)
昭和27年、加茂郡八百津町に生まれ育つ。
仕事で海外と日本を行き来しつつ、八百津祭りをになう
黒瀬組の中心的存在として、祭りの継承と伝承に全力を
注いでいる。

【取材後記】
黒瀬組のだんじり収納庫を見学しました。舞台
装置のような大きな扉にスタッフ一同びっくり！
黒塗りの山車を眺めながら祭りについて話して
くださる市岡さんの表情、とても印象的でした。

八百津祭りは、毎年四月の第二日曜日におこなわれます。だんじり(山車)は三百揃うと船の形になり、前から順に、芦渡組、本郷組、黒瀬組が担当しています。

昔は木曾の山で伐った木を川へ流し、川幅が広くなる八百津あたりでイカダに組んで、犬山まで運んでいたそうです。「八百」はたくさん、「津」は港の意味。きつと数えきれないほど港が点在し、高山のほうへ抜ける街道もあつたおかげで町が発展したのでしょうね。祭りのときは街道の閑所跡といわれる場所で、だんじりを止める風習がいまも残っているんですよ。

だんじりに乗るお囃子の若い衆は、黒瀬組の紋が梅鉢なので「梅若(うめわか)」と呼ばれます。だんじりには綱がついていて、誰でも引つぱることが出来ます。八百津にはイスラエルなど外国の方も多く、綱を引いたりだんじりに乗っていたらと本当に喜ばれますね。来年は皆さんも、どうぞ綱を引きにいらしてください。

変わらないために、変えていく

僕ら黒瀬組では、祭りの中心となる当本(とうもと)という役回りを四つの自治会で順番に担当してきました。しかし若い衆が減ってきたのと、回ってくるのが四年ごとということもあり、

技術の伝承がむずかしくなりました。だんじりの操り方や手古(てこ)の使い方は感覚的なもので、たまにやる程度ではなかなか身につかないですね。

そこで黒瀬組では、若い衆をひとつに集めて毎年携わってもらう方式に変えました。おかげさまで進行の技術についてはうまく伝承できていると思います。

一方で、だんじりそのものを保存する技術のほうを今とても心配しています。次の人たちにちゃんと伝わるだろうか、しっかりと受け継いで守っていつてもらえるだろうか、ということが非常に気がかりなんです。

受け継ぎたい「だんじり工学」

だんじりは釘を二本も使わず、基本的に藤づるで組んでいます。藤づるは毎年二月に山へ採りにいき、春まで水につけて柔らかくしておきます。祭りの二週間前に「山絡め(やまがらめ)」といって、新しい藤づるでだんじりを組み直します。組んだら動かしてみ、動くときの力のかり具合によつて締め方を調整していきます。そうした昔ながらの「だんじり工学」ともいえるべき技術を、次の世代、またその次の世代へと、しっかりと伝えていかないとけません。

古い材料をよく見ると、始めから直しやすい

ように工夫されていたり、ひとつの穴でもいろいろ考えて空けられていることが分かります。

当時の図面は何もないですが、できるだけ昔のままの材料や材質、寸法にならつて修復するようにしています。壊れても、安易に接着剤でくつつけるようなことは絶対にしないでほしい。そういう気概をもつた人、こだわりを大切にできる人が育つてくれることを願っています。

八百津が育んでくれたもの

仕事の関係で、家族をつれて海外で十三年間暮らしていましたが、盆正月は帰らなくても祭りのときだけは八百津にいました(笑)。祭りの最中にケガをしてしまい、松葉づえで赴任先のシンガポールへ戻ったこともありました。

祭りの魅力? …… なのでしょう、ひとつことでは言えないです。街全体がひとつになつて盛り上がるのを、子どもの頃から見ていましたから。曲がり角や狭い道、神社のところの急な坂で大人たちがだんじりを操る姿が、そらあ格好よくてね。憧れでした。

八百津のこの山、この川、この風の力に育まれ、土地のものを食べて、親から子へと代々受け継がれてきたふるさとのお祭り。そこにかけた人々の気持ちや思いを、なんとか昔のままの姿で残していきたいです。

2015.9-10
女性のための
起業家支援
セミナー

チャレンジ!! Challenge

自分で開業してみたいけど、何をしたらいいのか分からない…開業のいろはを丁寧に教えて頂きます。少しでも興味をお持ちの女性の方、さあ夢に向かってまずはチャレンジ!!

夢を夢で終わらせない!

- 場所**
美濃加茂市生涯学習センター
美濃加茂市太田町3425-1(市役所隣)
- 定員**
20名(先着順)
- 受講料**
全8回 6,000円(交流会費含む)
- 講師**
プロフェッショナルキャリア
カウンセラー
安藤 摩里氏

※託児ルームあり!(詳細はお問合せください)

日程	内容	
9/4(金) 10:00~15:00	・オリエンテーション ・起業家事例紹介 ・起業とは 起業の心構え ビジネスプランとは 起業への思い(経営ビジョンと経営理念)	安藤 摩里 起業家①・起業家②
9/11(金) 10:00~12:00	・自己分析 キャリアの棚卸 何がしたいのか 何が向いているのか	安藤 摩里
9/18(金) 10:00~12:00	・世の中に必要とされているか(環境分析) ・資金計画とは(最低限必要な数字) ・売上はどうやって上げるの?(顧客開拓) ・起業時に最低必要な営業アイテム	安藤 摩里
9/25(金) 10:00~12:00	・起業に必要な会計知識 ・税金、届出書類 ・ビジネスプランに必要な数値計画	安藤 摩里 税理士 日本政策金融公庫
10/2・9・16(金) 10:00~12:00	・ビジネスプラン作成 ・個別相談	安藤 摩里
10/23(金) 10:00~15:00	・ビジネスプラン発表会	安藤 摩里

申込方法

ホームページからダウンロードした「受講申込書」に必要事項をご記入のうえ、FAXにてお申込みください。
美濃加茂商工会議所 FAX:0574-24-0120

お問合せ

美濃加茂商工会議所 (担当: 吉田・梅村) TEL 0574-24-0123
E-mail / info@cci.minokamo.gifu.jp
ホームページ / http://cci.minokamo.gifu.jp